

札幌市総合交通計画改定検討委員会

第1回 市民まちづくり部会

参考資料

平成30年12月26日

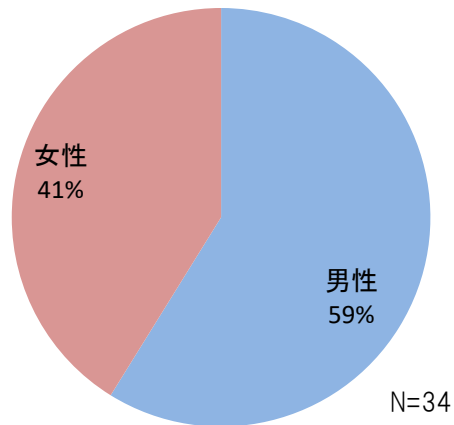
参考：市民ワークショップ開催結果（詳細）

➤ 総合交通計画の見直しにあたり、市民が感じている課題や解決に向けたアイデア、市民・行政等の役割について市民意見の抽出を行うため、市民ワークショップを実施

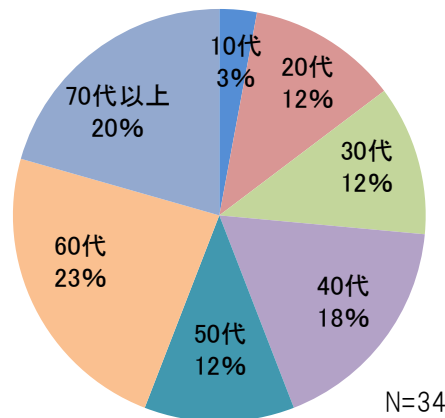
開催概要

日時	平成30年11月3日（土）10：00～16：00
場所	TKP札幌カンファレンスセンター カンファレンスルーム6B
参加者数	34名（市民委員3名を含む）
対象者の選出方法	無作為に抽出した18歳以上の市民3,000名に参加者募集案内を送付し、参加を希望された方の中から年齢、居住区のバランスを考慮し、参加者を選出
グループ分け	普段の移動状況から以下の属性にグループ分けを行い議論 (1) クルマで都心へ行く (2) クルマで郊外・拠点へ行く (3) 公共交通で都心へ行く (4) 公共交通で郊外・拠点へ行く

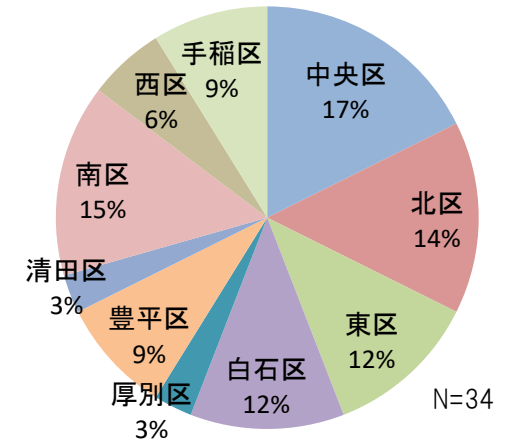
<性別>



<年齢>



<居住区>



- 午前の部では、札幌市から計画見直しの概要及び札幌の交通について説明（質疑含む）
- 午後の部では、グループごとに分かれてワークショップを実施

【午前の部】 10：00-11：40

10：00-10：10	10分	開 会
10：10-10：25	15分	「札幌市総合交通計画」の見直しについて
10：25-11：10	45分	札幌の交通について
11：10-11：40	30分	質 疑

【午後の部】 12：40-16：00

12：40-12：50	10分	ワークショップの進め方について
12：50-13：05	15分	アイスブレイク（自己紹介）
13：05-13：55	50分	ワークショップ① ^{いま} 「札幌市の交通の現在」
13：55-14：05	10分	休 憩
14：05-15：05	60分	ワークショップ② ^{みらい} 「札幌市の交通の明日」
15：05-15：20	15分	休 憩
15：20-15：55	35分	発 表
15：55-16：00	5分	閉 会

- 札幌の交通のよいところ
- 札幌の交通の不便なところ

- 課題解決のアイデア
- 市民・企業ができること
- 行政・事業者への期待すること



■ 札幌市の交通の現在（公共交通利用）

交通手段		よいところ	不便なところ
公共交通利用	全般	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転手に任せて移動できる ▶ 車窓の景色を楽しみながら移動できる ▶ 敬老パスや障がい者割引がある（地下鉄、路面電車、バス） ▶ 均一料金がわかりやすい（路面電車、バス） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 他都市と比べ料金が高い ▶ 丘珠空港のアクセスが不便 ▶ 始発が遅く、最終が早い ▶ 環状の公共交通網が希薄で、都心を経由する必要がある
	JR	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 定時性、速達性が高い ▶ Kitacaは市外にも行けるので便利 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雪で遅れることがある ▶ バリアフリー化が不十分
	地下鉄	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 定時性、速達性が高い（雪に強い） ▶ 都心や拠点にアクセスしやすい路線網 ▶ 全駅にホーム柵があるので安全 ▶ ゴムタイヤ走行で静か 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 東豊線ホームまで乗換が遠く、移動が大変 ▶ 使いやすい乗車券が不足（平日の1日乗車券など） ▶ 高齢者や外国人にわかりやすい案内がされていない ▶ エレベータを増設してほしい
	路面電車	<ul style="list-style-type: none"> ▶ どさんこパス（休日乗り放題）が便利 ▶ 運行状況がリアルタイムに確認できる ▶ 警笛と走行音は風情が感じられてよい ▶ 雨の日に傘を貸してくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 乗降口が狭い ▶ ラッシュ時は満車で乗れないときがある ▶ 地下鉄駅と離れていて乗り継ぎがしづらい
	バス	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 路線網が多く、大体のところに行ける ▶ 主要路線は便数が多く、待ち時間が少ない ▶ 休日の乗り放題が安い ▶ 低床車両や優先席がある 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 冬期は特に遅延し、雪の中待ち続けるといけない ▶ バリアフリー化が不十分（車両・ターミナル等） ▶ バスとバスの乗継割引がない ▶ 乗継の仕方やルートがわからない
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スマホで呼ぶことができる ▶ ベビーカーや車いすでも気兼ねなく使える 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 料金が高い、料金体系が分かりにくい ▶ マタニティタクシーが少ない

■ 札幌市の交通の現在（道路利用）

交通手段		よいところ	不便なところ
道路利用	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 道路網が整備され、広くて走りやすい ➤ 道路網が碁盤の目で分かりやすい ➤ 時間や経路選択が自由、寄り道できる ➤ 家族で移動できる ➤ プライベート空間が確保でき、コミュニケーションが図りやすい ➤ 運転自体が気分転換になる ➤ 荷物が多い時に便利 ➤ 雨・風でも移動がしやすい ➤ 車いすでの移動がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 渋滞で時間が読めない ➤ 冬期は道幅が狭く、つるつる路面が危険 ➤ 冬はできれば自動車を使いたくない ➤ 都心部は駐車場が少なく、駐車料金も高い ➤ ガソリンが高い、環境負荷が大きい ➤ 路上駐停車やバスレーンを走行する車が多く、運転手のマナーが悪い ➤ いつまでも自分で運転できるわけではない ➤ 札幌北ICから都心まで遠い ➤ 外環状道路は環状道路の形状になっていない
	自転車	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大型商業施設は駐輪場が無料 ➤ 都心内をスムーズに移動できる ➤ 環境に優しく、健康にもよい 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自転車の通行空間が少ない ➤ 駐輪場の場所が分かりにくい ➤ 冬の自転車利用は危険 ➤ 放置自転車が多い（ルール・マナー）
	徒歩	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 環境に優しく、健康にもよい ➤ 500m美術館は歩きながら楽しめてよい 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ つるつる路面が危険
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ➤ SAPICAは図書館の貸出証にもなるので便利 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 観光客のマナーがよくない

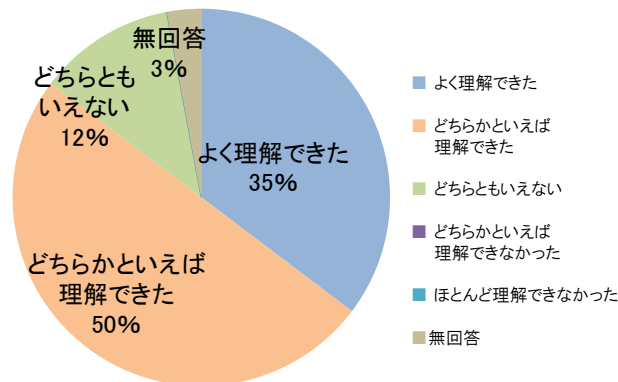
■ 札幌市の交通の明日（公共交通利用）

交通手段		市民・企業ができること	行政・交通事業者に期待すること
公共交通利用	全般	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 積極的に公共交通を利用するよう心掛け（家庭・企業による利用意識の向上、子供とホリデーテーリング等に参加） ▶ 商業施設による公共交通割引サービスの導入 ▶ 早朝・夜間は公共交通の割増料金を負担 ▶ 多少便数が少なくても、利用する側も理解が必要 ▶ 民間企業による交通やお店などのエリア情報を一括検索できるサイトの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ えきバスナビの使いやすさ向上 ▶ 分かりやすく、利用しやすい料金体系の設定（料金均一化、バス同士の乗継料金設定、利用するほど割安になる料金設定など） ▶ ICカードの共通化（JR・地下鉄・バス、他地域とも） ▶ 敬老パスの名称変更（アクティブパスなど） ▶ 運行ダイヤの見直し（始発・最終の時刻など） ▶ ICカードリーダーを増設し、乗降時間を短縮 ▶ 観光客向けの1日パスや公共交通利用に応じたポイントの付与
	JR		▶ バリアフリー化の推進（駅構内の段差解消）
	地下鉄	▶ 企業によるホーム柵の広告設置	▶ 災害に備えた洪水対策の検討
	路面電車		▶ ラッシュ時は座席なし車両を運行
	バス	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「分からないから乗らない」のではなく、「自分で調べて乗ってみる」ことが重要 ▶ バス待ち等の空き時間に、バス停の除雪や砂まきを実施 ▶ 郊外の商業施設を結ぶ均一料金バスの運行 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地下鉄駅やJR駅間をつなぐバス路線の環状化 ▶ バスロケーションシステムの早期導入 ▶ 車両や施設のバリアフリー化 ▶ バスの待合環境向上（上屋整備） ▶ バスの行先別に分かりやすく色分け、ナンバリング
	タクシー		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 乗合タクシーの運行 ▶ マタニティタクシーの充実・PR

■ 札幌市の交通の明日（^{みらい}道路利用）

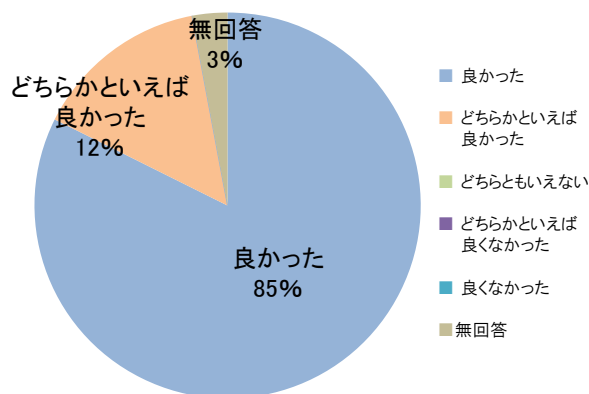
交通手段		市民・企業ができること	行政・交通事業者に期待すること
道路利用	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 車の利用を減らし、公共交通機関を利用 ➢ 渋滞予測で混雑の少ない経路を利用 ➢ 駐車場の空き情報提供システムをITベンチャーと連携し構築 ➢ 物流会社が連携し、共同荷捌きや一括納品を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 右折レーンや時差信号(矢印信号)の増設 ➢ 都心部のマイカー乗入規制(ナンバー規制など) ➢ 駅周辺の駐車場整備(最寄駅までは自動車、最寄駅から都心部は公共交通) ➢ 走行距離に応じた自動車税の減税
	自転車	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 走行ルールを守る ➢ 冬期は危険なため自転車を利用しない ➢ 買い物客への駐輪場料金の割引 ➢ 駐輪場整理など、ボランティア活動へのインセンティブ付与(飲食店の割引等) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 駐輪場の整備・周知 ➢ 自転車通行空間の整備 ➢ 自転車のルール・マナー啓発 ➢ 放置自転車撤去の頻度増加
	徒歩	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 砂まきを積極的に実施 ➢ 健康のためにも、バス停や地下鉄駅まで歩き、積極的に公共交通機関を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「移動手段の変更による環境負荷の低減」、「階段利用によるカロリー消費」などの情報を効果的に発信
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 交通マナーの教育、周知(親がマナー講習を受け、子どもに教える) ➢ 外国人観光客にも案内ができるように、市民が外国語を勉強する 	

＜交通の現状・課題の理解度＞



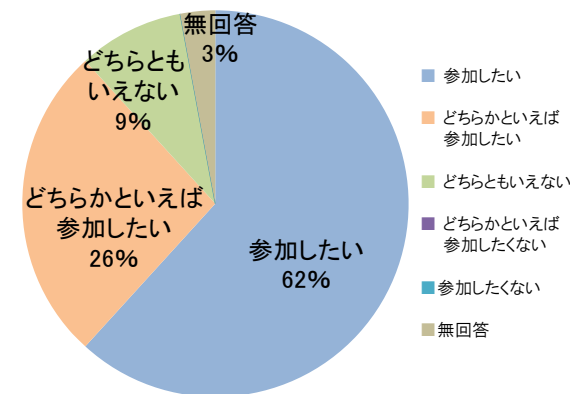
N=34

＜ワークショップの満足度＞



N=34

＜今後の参加意向＞



N=34

＜自由意見＞

- どういう経緯で今の交通網が完成したか、順序立てて理解でき、大変面白かった。
- 人と会話することで自分と違った世界の実情に気づくことができ、有意義だった。
- 市の財政も含め、市民として望めること、方向転換すべきことなど、意識が変わった。
- 車を使っている事での問題点、公共交通機関の課題など、今まで考えることがなかったが、改めて考える機会になり、理解することもできた。
- もっと目的をしばって具体的に進めた方が良かったと思った。